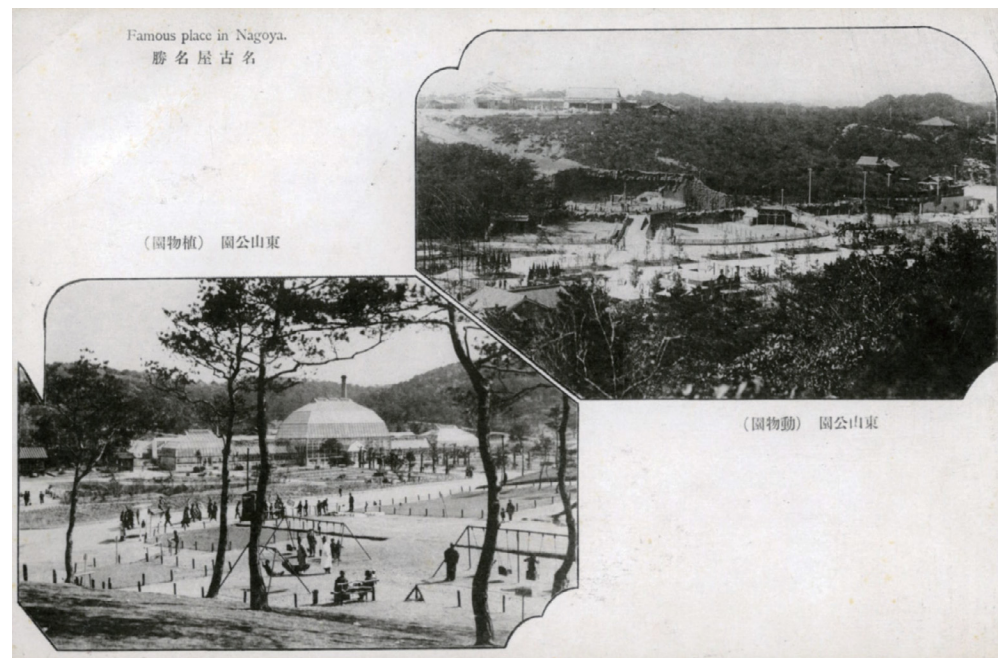
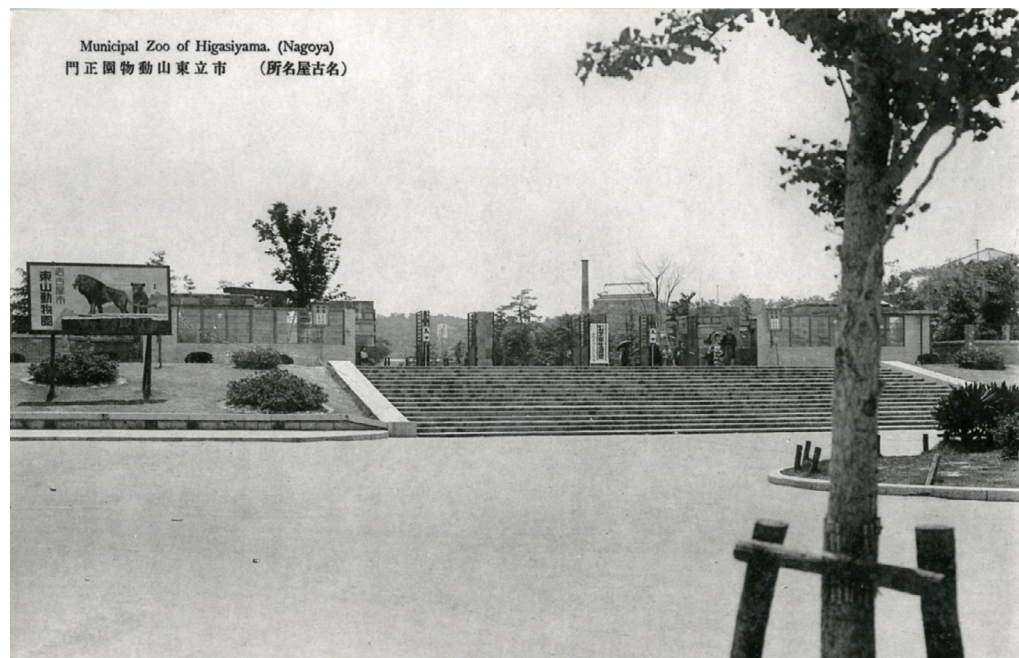




ひがしやまどうしよくぶつえん

東山動植物園ができたころ

しょうわ ねん

昭和12年(1937)ごろ

ひがしやまどうしよくぶつえん

東山動植物園ができる前は、林や田が多い地いきだった。動植物園ができて、

ろ めんでんしゃ とお

路面電車が通るようになる。すると多くの人が集まるようになっていった。

おお ひと あつ

どうしよくぶつえん



撮影：寺西二郎

ひがしやまどうしよくぶつえん
東山動植物園のまわりにできただん地 ち しょうわ ねん
昭和40年(1965)ごろ

ひがしやまどうしよくぶつえん ひと おお す す いえ
東山動植物園のまわりは、人が多く住むようになった。住む家がたりなくなり、
ち ち ひと もの おお ひと す
「だん地」ができた。「だん地」は一つのたて物に多くの人が住んだ。

みせ こうえん
お店や公園もそなえていた。



撮影：
寺西二郎

ち
だん地のようす

しょうわ ねん
昭和37年(1962)ごろ



撮影：
寺西二郎

こうてい
校庭からみえるだん地

しょうわ ねん
昭和40年(1965)ごろ



撮影：
寺西二郎

ひがしやまどうしょくぶつえん
東山動植物園

しょうわ ねん だいこうはん
昭和30年(1955)代後半



撮影：
寺西二郎

ひがしやまどうしよくぶつえん
東山動植物園

しょうわ ねん だいぜんはん
昭和40年(1965)代前半



撮影：
寺西二郎

ひがしやまどうしよくぶつえん
東山動植物園

しょうわ ねん だいぜんはん
昭和40年(1965)代前半



ひがしやまどうしよくぶつえん
いまの東山動植物園とだん地

れい わ ねん
令和2年(2020)

ひがしやまどうしよくぶつえん たか
東山動植物園のまわりには高いマンションがたち、ますます多くの人が住んでいる。

みせ がっこう おお す
お店や学校があり、みどりも多く、住みやすいまちづくりがおこなわれている。